

科目名称	基礎看護学実習 I (コミュニケーション)	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	45
担当教員	越智 明夏	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】授業概要

本実習では、対象の治療の場、及び療養生活の場において、対象の生活や環境を理解し、療養生活を送る対象とのコミュニケーションのあり方を学ぶ。また、看護師の看護活動の実際を見学し、看護師の役割や責任を理解する。

【2】学習目標

- 対象を取り巻く環境を説明することができる。
- 対象者とのコミュニケーションを通して、看護におけるコミュニケーションの意味と方法を理解できる。
- 実際の看護場面から看護の機能と看護師の役割を説明することができる。
- 実習を振り返り、自己の課題を明確にすることができます。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1 ～ 5 日 目	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションを通して、病院や病棟の構造・設備・特性を知る。 ・看護師のシャドーイングを通して、患者とのコミュニケーションや観察からの情報収集の方法を理解する。 ・担当患者とのコミュニケーションを通して、看護におけるコミュニケーションの意味と方法を考える。 ・看護場面の見学を通して、看護の機能と看護師の役割を考える。 ・ミニカンファレンスで学びを共有する。(1～4日目) ・最終日には反省会で実習での学びのまとめを報告しあう。(5日目) ・実習を振り返り、今後の自己の課題を明らかにする。 	臨地実習

【5】評価方法

基礎看護学実習 I の評価基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員(実習指導者評価所見含む)で評価を行い、60点以上を合格とする。

【6】教科書

実習オリエンテーションで配付した資料および実習要綱

【7】参考書

必要時隨時確認を行う。

【8】受講生へのメッセージ

臨地実習は、対象者・看護師から多くを学ばせていただきます。誠実な態度で実習に臨みましょう。